

南アルプス市橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託

特 記 仕 様 書

令和 6 年 4 月

南アルプス市
道路整備課

特 記 仕 様 書

第 1 条 適 用

本特記仕様書は、山梨県県土整備部設計業務等共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）という特記仕様書で、南アルプス市が発注する『南アルプス市橋梁長寿命化修繕計画業務委託』（以下、「本業務」という。）に適用する。

第 2 条 業務の目的

本業務は、南アルプス市が管理する橋梁について、予防的な修繕により橋梁の健全性の低下を防止し長寿命化を図ることにより、橋梁の安全確保やコスト縮減にもつながる橋梁長寿命化修繕計画を策定することを目的とする。

第 3 条 使用する技術基準等

本業務で使用する技術基準等は、共通仕様書に定めるものとし、必要に応じて監督員の承諾を得たものとする。

第 4 条 業務の対象橋梁

本業務の対象橋梁は、南アルプス市管理橋梁全 406 橋とする。なお、業務対象橋梁数変更の際は、設計変更対象とする。

第 5 条 業務の履行期間

本業務の履行期間は、10 ヶ月を見込んでいる。

第 6 条 管理技術者

受注者は、管理技術者を定めるものとする。なお、管理技術者は技術士（鋼構造及びコンクリート）または R C C M（鋼構造及びコンクリート）の資格保有者であり、日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可）でなければならない。

第 7 条 照査技術者

受注者は、共通仕様書第 1108 条第 2 項に規定する照査技術者を定めるものとする。

第 8 条 業務の着手

受注者は、契約締結後 15 日以内に業務に着手しなければならない。

第9条 業務内容

本業務の項目は、以下の通りとする。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ① 業務計画書作成 | 1 業務 |
| ② 事前調査（管理橋梁の整理） | 1 業務 |
| ③ 既計画の修正における課題の再整理（計画全体の方針策定） | 1 式 |
| ④ 橋梁長寿命化修繕計画の策定（橋長 15m以上） | 78 橋 |
| ⑤ 橋梁長寿命化修繕計画の策定（橋長 15m未満） | 328 橋 |
| ⑥ 取りまとめ・報告書作成 | 1 業務 |
| ⑦ 打合せ協議 | 1 業務 |

それぞれの業務項目の具体的な内容は、以下の通りとする。

① 業務計画書作成

業務概要、実施方針、業務工程、業務組織計画、打ち合わせ計画、成果品の内容、部数、使用する主な図書及び基準、連絡体制（緊急時含む）等の事項について業務計画書を作成する。

② 事前調査（管理橋梁の整理）

本業務対象橋梁について、発注者から提供される台帳作成支援システム、設計成果品、施工記録および過去の定期点検記録等の既存資料の収集を行い、橋梁諸元等の整理及び以下の業務に必要なデータを整理する。また、実施された定期点検結果を分析し、結果を報告する。なお、橋梁の立地環境、交通状況など、過去の定期点検等の既存資料のみでは、計画策定の方針検討等に必要な情報が充分得られないものと判断し、現地踏査も併せて行うことを想定している。

③ 既計画の修正における課題の再整理（計画全体の方針策定）

「道路メンテナンス事業補助制度要綱の改正について（事務連絡）令和3年3月31日 国土交通省関東地方整備局道路部地域道路課長」に記載された、以下の追加要求事項に対し、検討・整理を行い、方針の策定を行う。

1) 老朽化対策における基本方針検討

長寿命化修繕計画の目的や対象橋梁、計画期間、個別橋梁の老朽化の状況（管理橋梁数、健全性の判定区分の割合、修繕等措置の着手状況等）、対策の優先順位の考え方や目標など、今後の計画的な老朽化対策を実施する上で必要となる情報や考え方を整理し、計画期間における老朽化対策の基本的な方針を定める。

なお、計画全体の方針については、既計画にて概ね方針決定されているが、以下の2項目については、方針の再検討・再整理が必要なため計上する。

a) 優先度の再整理

既橋梁長寿命化修繕計画における優先度の考え方にしたが、再整理の上、優先度を修正させる。

b) 予算平準化の再整理

優先度の考え方をもとに、予算の平準化について再整理を行い、平準化させる。

2) 新技術の活用方針検討

定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るための新技術等の活用に関する考え方や取り組み、目標などを定める。

3) 費用の縮減に関する具体的な方針検討

今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減を図るための考え方や取り組み、目標などを定めた内容や、社会経済情勢や橋梁の利用状況等の変化に応じた適正な配置のための橋梁の集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針を定める。

④ 橋梁長寿命化修繕計画の策定

業務対象橋梁について、直近（令和元年度から令和5年度）における点検結果を踏まえた概ね5年の橋梁長寿命化修繕計画を橋梁ごとに策定する。対象橋梁は406橋とし、内訳は以下の通りである。

- ・ 橋長15m以上…… 78橋
- ・ 橋長15m未満…… 328橋

なお、本項目においては、「道路メンテナンス事業補助制度要綱の改正について（事務連絡）令和3年3月31日 国土交通省関東地方整備局道路部地域道路課長」に記載された、以下の個別の橋梁ごとの事項について、一覧表形式等で整理を行うことを含む。

a) 橋梁の諸元

橋梁名称、建設年度、延長など

b) 直近における点検結果及び次回点検時期

直近に実施した定期点検の実施年度、判定区分、次回定期点検の実施予定年度など

c) 対策内容

修繕、更新、集約化・撤去、監視などの対策のうちいずれかの主な措置の内容など

d) 対策の着手・完了予定年度

c)で記載した措置に着手する予定年度及び措置が完了する予定年度など

e) 対策に係る全体概算事業費

c)で記載した措置の内容に要する概算費用など

⑤ 取りまとめ・報告書作成

本業務の成果を取りまとめ、報告書を作成する。また、国土交通省（山梨県を含む）への提出資料ならびに、南アルプス市民への周知・説明用の資料を作成する。

⑥ 打合せ協議

打合せは、業務の着手時、各作業の中で主要な区切りの時点及び成果品納入時に

行う。本業務では、以下の通り中間打合せを3回行うと想定している。

第1回：契約内容の確認、既存資料の貸与

第2回：事前調査結果報告

第3回：計画全体の方針策定結果報告

第4回：橋梁ごとの計画策定結果報告

第5回：全項目の確認

また、上記以外に電話及び電子メールで内容確認等頻繁に行い、意思疎通を図る。

また、その他必要が生じた場合は、速やかに監督員に連絡し打合せを行うこととする。

第10条 成果品の提出

本業務の成果品として、以下のものを提出する。

- ・紙報告書：A4サイズ、チューブファイル形式 1部
- ・電子媒体報告書：CD-RまたはDVD-R 2部
- ・原稿：1式（電子媒体にて提出）
- ・その他監督員が指示した資料

第11条 再委託体系図の作成及び提出

「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、再委託する場合には、金額・業務内容の如何にかかわらず、末端の再委託者まで反映させた、「再委託体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

また、提出した「再委託体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。

第12条 その他

1. 受注者は業務完了引き渡し後といえども過失、疎漏、検討不足等に起因する不良箇所及び施工中における条件変更、疑問点等が生じた場合には、監督員の指示により訂正補助、その他の処理をしなければならない。
2. 測量業務共通仕様書第112条に基づき、監督員及び受注者は、問合せに対して、1日あるいは適切な期限までに対応することとするが、1日での対応が困難な場合などは、いつまでに対応するかを連絡するなど、速やかに対応すること（ワンデーレスポンス）。
3. 本業務は、ウィークリースタンスの対象業務である。業務の実施にあたっては、「南アルプス市ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受注者相互に協力し、取り組むものとする。
4. その他特記仕様書によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。